## Laravel 資料1 環境構築とページ作成

## 0. はじめに

本資料は以下の内容について書かれている。

- 1. Composer の導入
- 2. Laravel プロジェクトの作成
- 3. login ページの作成

#### ■注意

XAMPP は PHP のバージョン が 7.x 系列 の物を使用すること。

また、XAMPPのパスは著者の環境に依存している為

それぞれの環境に合わせて修正すること。

## 1. Composer のインストール

#### composer公式 🗹

#### Getting Started から飛ぶ



### A Dependency Manager for PHP

Latest: 1.9.0

Getting Started Download

Documentation Browse Packages

Issues GitHub

#### Windows用インストーラリンク 🗹

Composer-Setup.exe をクリックし、インストーラをダウンロードし、実行する。

#### Installation - Windows #

#### Using the Installer #

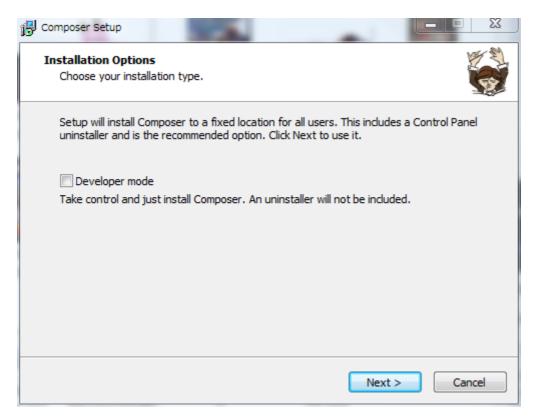
This is the easiest way to get Composer set up on your machine.

Download and run Composer-Setup.exe. It will install the latest Composer version and set up your PATH so that you can call composer from any directory in your command line.

**Note:** Close your current terminal. Test usage with a new terminal: This is important since the PATH only gets loaded when the terminal starts.

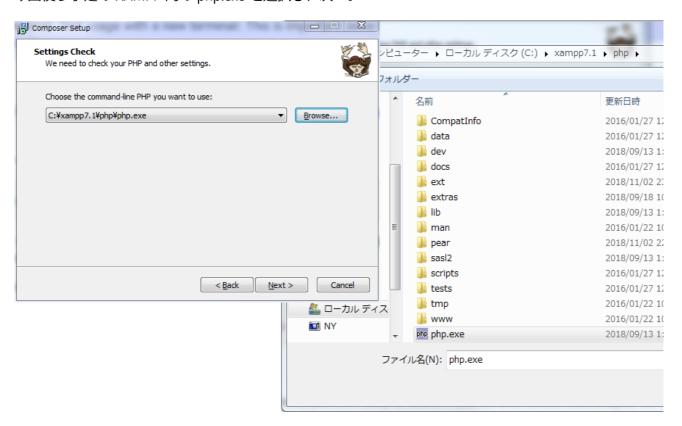
チェックはせず、次へ。

※チェックするとインストール時に「アンインストール用ファイル」が含まれなくなる



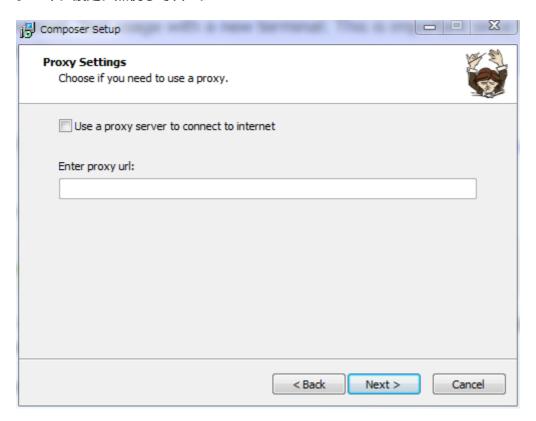
#### ■ ステップ 2

今回使う予定の XAMPP 内の php.exe を選択し、次へ。



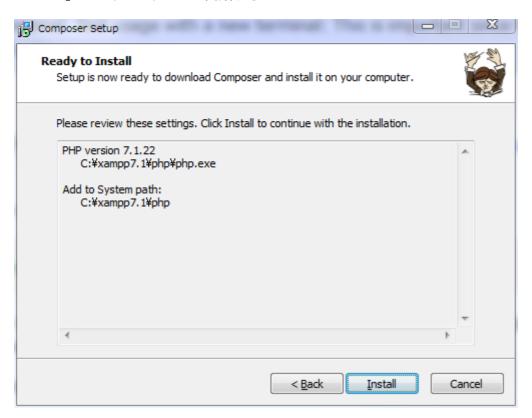
#### ■ ステップ 3

プロキシ設定。無視して次へ。

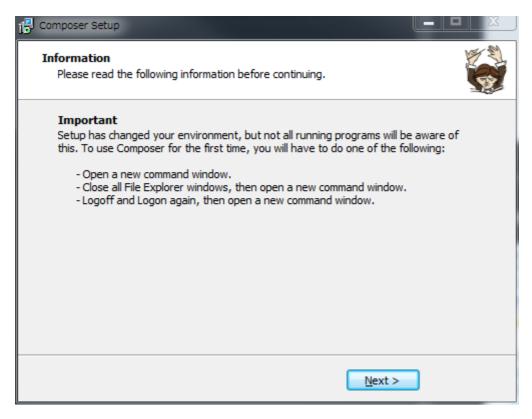


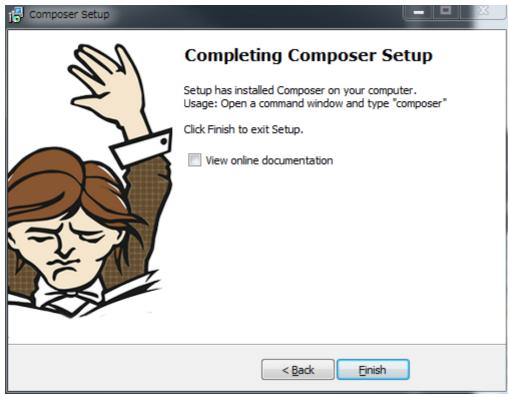
### ■ ステップ 4

「Install」からインストールを開始する。



#### インストール完了。



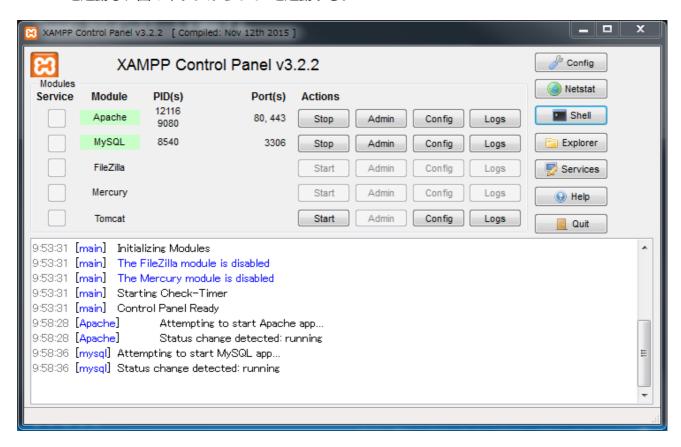


### Laravel プロジェクトの作成

XAMPP の htdocs 内に Laravel のプロジェクトを作成する。

#### ■ shell の起動

XAMPP を起動し、図のボタンから shell を起動する。



### ■プロジェクトの作成

起動後は C\xampp から始まるため

以下のコマンドで C\xampp\htdocs フォルダへ移動。

cd htdocs

移動を確認後、以下のコマンドを実行する。

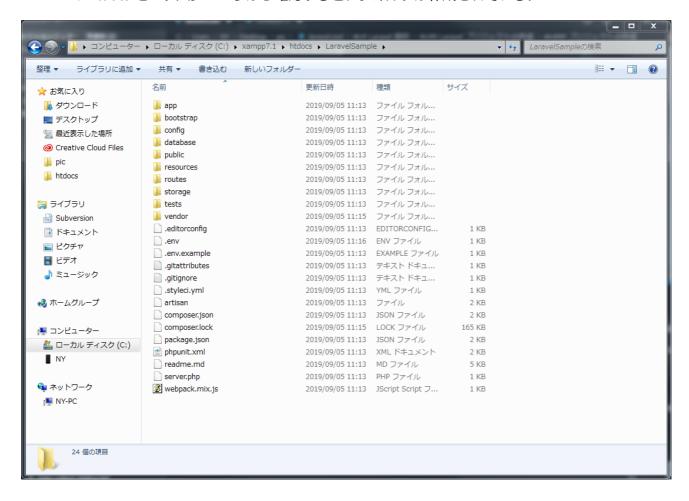
composer create-project "laravel/laravel=5.4.\*" LaravelSample

※今回使用する Laravel のバージョンは 5.4 とする

```
NY@NY-PC c:\xampp7.1\htdocs
# composer create-project --prefer-dist laravel/laravel Laravel Laravel Laravel Sample
```

Application key set successfully. と出たら完了。

#### XAMPP の htdocs をエクスプローラから確認すると、フォルダが作成されている。



#### ■サーバーの起動

shell で以下のコマンドを実行し、プロジェクトフォルダへ移動する。

cd c:\xampp\htdocs\LaravelSample

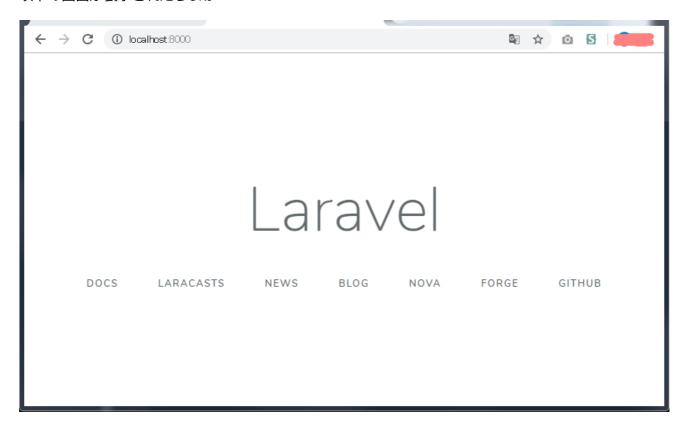
移動を確認後、以下のコマンドを実行しサーバーを起動する。

php artisan serve

shell上にLaravel development server started: <http://127.0.0.1:8000> と表示された後

ブラウザにて http://localhost:8000 🗹 を開き

以下の画面が表示されたらOK。



### ■サーバーの停止

サーバーを止める際には shell を閉じればOK。

## ログイン画面の作成

ブラウザ上で localhost:8000/login と叩いた際にログイン画面が出るよう

以下の流れでログイン画面のトップページを表示させる。

- 1. ルーティングに関わる web.php を編集する
- 2. 項目1にて「web.phpにて呼んだコントローラー名」でコントローラーを作成
- 3. 画面表示用にView ファイル (拡張子 .blade.php ) を作成

新たなページを作る際には、上記の流れを再度行うことになる。

### ルーティングの編集

routes/web.php を編集する。

Route::get('/login', 'LoginController@getIndex');

本ルーティングファイルは「どのメソッドで」「どのURL (URI) が叩かれたら」

「どのコントローラの」「どの関数を呼ぶか」を指定する。

今回の場合は「GET メソッドで」「/login にアクセスした場合」

「LoginController.php 内の」「getIndex() 関数を呼ぶ」という意味になる。

もちろん「呼ぼうとしているファイルが存在しない」とエラーを吐くため これから順番に作成していくことになる。

ちなみに URL から直接ページを開く際には Route::get() を使い

フォームの値の受け渡しの際には Route::post() を使う。

## コントローラーの生成

本項目ではコマンドライン上から「LoginController.php」ファイルを生成する。

■プロジェクトフォルダへ移動

shell を起動し cd c:\xampp\htdocs\LaravelSample を実行し

プロジェクトフォルダへ移動する。

■ LoginController の生成

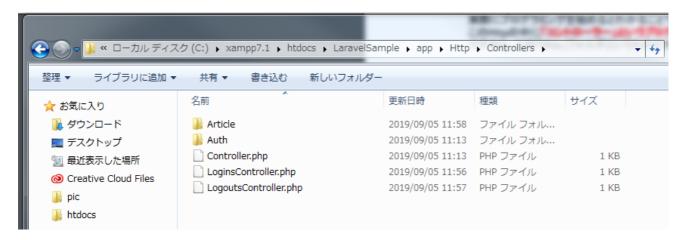
移動後、以下のコマンドを実行。

php artisan make:controller LoginController

実行後、Controller created successfully. と出たらOK.

### C:\xampp\htdocs\LaravelSample\app\Http\Controllers を開くと

以下の通り、コントローラーファイルが生成されている。



ファイルの作成に成功したら、 web.php にて記述した関数

getIndex() を作成する。

[app\Http\Controllers\LoginController.php]

```
<?php

namespace App\Http\Controllers;

use Illuminate\Http\Request;

class LoginController extends Controller
{
   function getIndex() {
        // view ファイルを返却
        return view('login/login');
   }
}
</pre>
```

# テンプレートファイルの作成

### 公式リンク 🗹

Blade (ブレード) という Laravel 固有のテンプレートエンジンを利用し

拡張子 .blade.php ファイルを動かす。内容は html + php。

MVC の V ... View にあたる。

以下の通り、テンプレとなる view ファイルを作成する。

配置場所は LaravelSample/resources/views/layout の中。

※layout フォルダは自分で作成すること。

#### [layout.blade.php]

```
<!doctype html>
<html lang="ja">
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html;charset=UTF-8">
  {{-- jQuery読み込み --}}
  <script
  src="https://code.jquery.com/jquery-3.4.1.slim.min.js"
  integrity="sha256-pasqAKBDmFT4eHoN2ndd61N370kFiGUFyTiUHWhU7k8="
  crossorigin="anonymous"></script>
  {{-- bootstrap4読み込み --}}
  klink
href="https://stackpath.bootstrapcdn.com/bootstrap/4.4.1/css/bootstrap.min.cs
s" rel="stylesheet" integrity="sha384-
Vkoo8x4CGsO3+Hhxv8T/Q5PaXtkKtu6ug5TOeNV6gBiFeWPGFN9MuhOf23Q9Ifjh"
crossorigin="anonymous">
  <script
src="https://stackpath.bootstrapcdn.com/bootstrap/4.4.1/js/bootstrap.min.js"
integrity="sha384-
wfSDF2E50Y2D1uUdj003uMBJnjuUD4Ih7YwaYd1iqfktj0Uod8GCExl30g8ifwB6"
crossorigin="anonymous"></script>
  <script
src="https://stackpath.bootstrapcdn.com/bootstrap/4.4.1/js/bootstrap.bundle.m
in.js" integrity="sha384-
6khuMg9gaYr5AxOqhkVIODVIvm9ynTT5J4V1cfthmT+emCG6yVmEZsRHdxlotUnm"\\
crossorigin="anonymous"></script>
  <script>
    {{--@yield('script')--}}
  </script>
</head>
<body>
  <img alt="□□" src="{{ asset('/img/html5b.png') }}">
  <div class="container">
   @yield('content')
  </div>
</body>
</html>
```

配置場所は LaravelSample/resources/views/login の中。

※login フォルダは自分で作成すること。

#### 【login.blade.php】

```
@extends('layout/layout')
@section('content')
<form method="post" action="/login">
  <h2>□グイン</h2>
  {{ csrf_field() }}
  <label>名前</label>
  <div class="form-group">
    <input type="text" name="name" class="form-control">
  </div>
  <label>パスワード</label>
  <div class="form-group ">
    <input type="password" name="password" class="form-control">
  </div>
  <label>権限</label>
  <div class="form-group">
    <div class="radio-inline">
      <label>
        <input type="radio" name="authority" value="1">管理者
      </label>
    </div>
    <div class="radio-inline">
      <label>
        <input type="radio" name="authority" value="2">一般
      </label>
    </div>
  </div>
  <input type="submit" value="登録" class="btn btn-primary">
</form>
@stop
```

## 画面を確認

ロゴ画像がリンク切れしているが、表示には成功した。

